

高齢者のデジタルデバイド対策について

デジタルデバイドとは…

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差

【背景】

・全国的に IT・デジタル化が進み、民間サービスではオンライン化が拡大しており、今後、多摩市の行政サービスもオンラインに移行していく予定

・買い物や健康づくり、災害時の安否確認、普段の見守りなど、高齢者にとってスマートフォンは便利なツールであり、高齢者の生活の質向上につながる

⇒高齢者に対するデジタルデバイド対策の必要性

【令和5年度の高齢支援課の取り組み】

スマートフォンに関する講座については、既に公民館や市内事業者による取り組みが複数実施されていることから、令和5年度に高齢支援課で実施する取り組みは以下の3点。

① 東京都高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業

東京都による事業を活用し「スマホ体験会」を開催する。高齢支援課では、老人福祉館やコミュニティセンターを会場として計9回（定員20名）実施する予定。

二幸産業・NSP 健福祉プラザでは「スマホ体験会」を計12回（定員20名）、「スマホ相談会」を計11回（定員12名）実施する予定。

また、二幸産業・NSP 健福祉プラザの3階福祉展示機器コーナーにおいて、東京都高齢者のQOL向上のためのデジタル活用支援事業を活用し、3か月間、週3回の相談会を開催する予定。

② 市内事業者によるスマホ相談会

希望のあったコミュニティセンター3箇所（大栗川・かるがも館、からきだ菖蒲館、トムハウス）を会場に月1回の相談会を市内事業所の協力を得て実施。7～9月はトムハウスの開催は予定されていないため、その間は東寺方老人福祉館での開催を予定。

③ 高齢者実態調査における調査

高齢者実態調査において、スマホ等の利用状況に関する調査項目を追加し実施。調査結果を参考に計画策定を検討。

【今後の方向性】

市内におけるスマートフォン操作に関する講座等の開催状況等を把握するとともに、高齢者実態調査の結果や上記相談会等で収集したアンケート等の結果を踏まえ、令和6年度以降の対応を検討すると同時に、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画への反映を検討する。